

施設における看取りケア研修会アンケート <集計結果>

*アンケート回収118 (アンケート回収率88%)

Q1：所属について

- ①有料老人ホーム (10) ②グループホーム (23) ③特別養護老人ホーム (6)
④サービス付き高齢者向き住宅 (6) ⑤介護老人保健施設 (27)
⑥小規模多機能型居宅介護 (11) ⑦居宅介護支援事業所 (12)
⑧病院・診療所 (1) ⑨行政 (4) ⑩その他 (15)

Q2：所属所在地

- ①大村市 (102) ②諫早市 (10) ③東彼杵町 ④川棚町 ⑤波佐見町 (1)
⑥その他 (15)

Q3：職種について

- ①管理者 (17) ②ケアマネジャー (15) ③ヘルパー (6)
④介護福祉士 (31) ⑤社会福祉士 (2) ⑥生活相談員 (4)
⑦医師 (1) ⑧保健師・看護師 (32) ⑨その他 (10)

Q4：話題提供「大村市における在宅医療・看取りについて」について

- ①大変参考になった (75) ②参考になった (30) ③あまり参考にならなかった

Q5：講演「介護施設における看取り介護の実践」について

- ①大変参考になった (96) ②参考になった (16) ③あまり参考にならなかった

Q6：貴所属で看取りを行っていますか。

- ①はい (81) ②いいえ (20) ③その他 (6)

Q7：具体的にどのようなことが印象に残りましたか

- ・施設での看取りの事例が印象に残りました。多くの方が入所し、多くの方を看取る中で一人ひとりにあったエピソード作りをするのは大変だと思いました。ですが、自分が家族側に立ったとき、亡くなる本人になった時、すごく嬉しい、一生の思い出になると思いました。
- ・看取り介護はいろいろなやり方があるのだなと思いました。療養者さんが望むような仕方で安心していてもらいたいと思った。
- ・医療的なことばかり考えていました。以前で言うターミナル的なことを。そうですね。看取りですね。看取り介護でした。普通にいつもどおりに過ごしているその先に命の終わりがあることを今夜あらためて感じることができました。本当にありがとうございました。
- ・看取りとは死ではなく生を支援していくことである。看取る喜びを家族・職員で共有できるようにスタッフに伝えていきます。
- ・人生ノートを現在主人と自分の分を記入しています。（長女と話し合いながら）記入するに当たっての参考になりました。
- ・「看取り介護」を行っていますが、先生の話聞いてあらためて時期など検討する必要があるなと思った。動画いつ作成されたの？すばらしかったです。ついつい口づさみました。
- ・人にすべて訪れるその時が自然に迎えられることを嬉しく感じました。それでもよりよい看取りのために正しい知識が必要であること。
- ・エピソード作り、その人の最期のステージに立会い、その人がその人らしく逝かれるように傍らに付き添う。その心使いが印象に残りました。
- ・呼吸が苦しくて、意識がない人でも苦しむということ。痰が詰まって呼吸ができなくて苦しいと思っていたが、吸引することが本人にとって苦しい思いをさせてしまっていた。こちらの思い込みで本人様に苦しい思いをさせた。
- ・その人らしく生きることが出来る支援のその人らしくを勘違いすると言われる言葉がとても心に残りました。心がけてはいるつもりですが、再度新たに考える機会になったと思いました。
- ・感動する介護。人集めに苦労してません。そのひとらしくを便利使いしないでくださいの言葉が

印象的でした。

- 看取りのあり方、介護の流れの中で、自然に看取りをしていくこと
- 看取り介護の具体例が良かった
- あっという間の2時間で話に引き込まれました。介護という仕事にこれから誇りを持って精進していきたいと思います。
- 点滴。むくんでいるのに抜去しない為に手足を縛る？ありえない。何もしなくてよい看取り、口腔ケアも清拭もしない、ありえないと思った。無知は罪。
- 看取りケアというと特別なことをしないといけないという思い込みもありましたが、特別なケアではなく、特別なエピソード作りをお手伝いできるようなお手伝いをしていきたいと思いました。
- 介護をすることを自分の行き方にするということ。菊地先生のお話を聞いて、初めてCMIになってよかったかなと思うことができました。今日は本当にありがとうございました。
- その人らしい最期を迎える為にどのような支援をしたのかというエピソードがとても感動した。
- 看取りケアを実際に行って、家族の方の感想や施設で行ったこと。
- どう死ぬかではなく、どう生きるかを考えること。特別なことをするのではなく当たり前のことをすることが看取り。生きているうちにエピソード作りの時間を演出させてあげたい。
- 看取りは人が人らしく最期まで安心、安楽に生きること
- 介護の技術じゃなくても普通に接すること、愛情を持って接する。エピソードを作る、勉強になりました。
- 1人ひとりの生き方などに本当に寄り添ったケアができたらと思いました。エピソード、家族や周りの方を巻き込んで作れたら、どんなにステキだろうと思いました。今の自分の仕事のあり方が程遠いようにも感じて恥ずかしくなりました。ありがとうございました。
- 本人の尊厳。とても大切なのに現状では難しい。施設全体で考えて欲しい。まず自分でできることをやって欲しい。考えていることを肯定してもらったようで本当に来て良かったです。
- 介護を仕事としてではなく、「生き方」と捉えてくださいのメッセージにガツンとくるものがあり涙があふれました。

・VRなど使えるものを使う、新しい取り組みだなと思いました。看取りは難しいというイメージがあったけど覆りました。

・老健のターミナルにおける医療行為を色々と聞けてよかったです。苦痛なく安楽な最期を送っていただけるようケアして行きたいです。

・私は看護なのですが、熱い思いは一緒だなと思いました。死を特別として捉えるのではなく、普通に看取りをやっていきたいです。家族を巻き込む工夫は取り入れていきます。

・ターミナルケア、今私にできることがわからないといつも思っていた。本日の講話を聴いてケアの延長で良いんだとあらためて自分自身に自信ができました。信じよう介護の力、あきらめない介護、このフレーズを胸に刻み明日からも笑顔で頑張ります。先生ありがとうございました

・入居者中心の看取りをやればできると……。まずはやってみること。できないではなく。任せてくださいと言える様に。

・感心を持つ、気付く、看取りという言葉の意味。何もしないのではなく、本人・家族にとって望まれることは何かをきちんと向き合うことの大切さを知ることが一番大切なことだと思った。

・介護の温かさ。緊急時の対応で家族からの延命に対するアンケートを取っているがかりつけ医との連携の必要性を感じた。

・看取りのすばらしさをもっと伝えることを考えたい。

・看取りについて、介護福祉士として関わるができること。

・離職率が低いこと、家族が40日間施設に滞在されて看取りを行われたこと。

・とてもとても感銘を受けました。このような最期の看取りを行いたい。自分も看取ってもらいたいと思いました。ありがとうございました。

・40日間付き添って看取り介護をされた娘さんのことがとても印象に残りました。明日どうなるかわからないので後悔することのないように愛のある親にとって一番幸せだったなと思ってもらえるような看取りができれば私も幸せだと思えるかなと思いました。

・看取りとは難しいことをすることをすることではない。自分、自分の親の最期についてじっくりと考えていきたい。

- 看取り介護は特別なものではなく、日々の暮らしそのものであることを再確認させていただいたことがとても印象に残りました。
- 山下先生の話。大村市の看取りに関するアンケート。実体験による看取りのエピソード。今入所されている方にもこのような環境で最期を作れるように努力したいとおもった。
- 看取りの話はもちろんですが、職員の定着についての話は印象に残りました。
- 看取りとは難しい技術は必要ない。今までやっていたことを最後まで行うこと。
- masaさんの話全般。楽しい話だった。
- 看取りケアが必要な根拠をデータで知ることができた。看取りケアを何でするのか、どうあるべきかが根拠に基づいており、心に響いた。
- 看取りケアに積極的に関わっていきたい気持ちになりました。最初から最後まで素晴らしい内容の話で2時間があっという間でした。
- 看取りについての受け止め方がしっかり理解できました。
- 白寿の方のお誕生日会。普段の介助が行渡っているからよりより最期になるのだと思いました。
- 家族にとってのエピソード作りに介護職としてどのようにかかわるか考えさせられました。
- 入所者とその家族の最期のエピソード作りや看取りケアは日常の延長というところが印象に残りました。
- 認知症になって自身で何もできなくなってもエピソードを作ることが大切と言うこと
- 個別ケアを意識して介護に取り組んできたつもりだったが、今回の話を聞く中でもっとできることがあるのではないかと考えさせられました。
- 看取りの考え、行い方、人生会議の大切さ。施設で行っていることがこういう事は良かったと感じるところもありました。ホームでも職員とも話をし、良かった所、悪い所を話あって行きたい。
- 看取り＝負担という思いがあり、当施設でもほとんどの職員がそういう思いです。今回の菊地先生のお話を聞き、看取りに対する思いが変わりました。私だけ変わっても少しの変化しかないと思いますが、少しずつ職員全員の気持ちが変わるといいなと思いました。また、機会があればお話をお聞きしたいと思いました。

・看取り介護への理解と心構えが詳しくわかり今後のケアを今回の話を活かして取り組んでいけたらと思います。

・今まさに看取りの利用者様がおられるので、今日のお話は大変参考になりました。ご家族と一緒に寄り添いながら最期を看取りができるよう願うばかりです。

・看取りについての誤解があったが、詳しく中身を知るととても大事で必要な事だと感じました。

・最期をその人らしく迎える手立て（思いで作る）ができることはすばらしいことだと感じた。

・看取り＝家族愛の必要。無理せず最低限の援助を充分に行う。エンディングノートの必要性を感じた。施設でできることを充分行って行ければ施設での看取りも可能なのだと気付きました。私の姉の終末の状態を思い出しました。穏やかに亡くなっていき最期に私と私の子供達に看取られ静かにお寺の鐘とともに天国に行きました。

終末期判定と余命診断ですが、漫然とターミナルケア対象者として常に数人いらっしゃいますので、医師にしっかり理解していただけるように取り組みたいと思います。人材育成が一番重要。

・看取りは医師、看護がいなくてもできるという事が目からウロコでした。人生会議を行うことの大事さがわかりました。

・看取りの本当の意味を知った気がします。看取り介護のやり方、自分達にできることをたくさん知れてすごく良かった。また、お話を聞きたいと思った。

・看取りは特別なことではないということ。医療が強いから安心できるという考えは必要ないと思った。

・誕生会の話はとても感動しました。全てのエピソードに心打たれました。

・看取り介護に対する自分自身の考え方に変化が生まれました。看護師の立場以上に介護者としてやれる事に可能性を感じた。死の支援ではなく、どのように生きるか入居者様と日常の中で話していく必要があることが重要であること。

Q8：もっと知りたかったことがありましたか

- 著書を購入して参考にしていきます
- 家族との良好な関係作り。「お任せします」と言う家族の本当の思い。認知症の方の対応。
- 職員のモチベーションをどうあげていくのか。楽しく働ける環境づくり
- スタッフの労働環境をどう工夫されているのか知りたい。
- 仲間の作り方。同じ思いを持った人の集め方。
- 日々の具体的なケア、日々の具体的な働き方
- エピソードの数々をもっと知りたいと思いました。
- 大村市のアンケートの資料がほしい。管轄行政に伝えたい。
- 次回、サービスマナー研修をお願いしたいです。
- ホームページについて（調べてみます）
- 看取り介護ができるまでの過程に何か必要なのか、具体的に知りたい。
- 上手くいかなかった看取りケースも知りたかったです。
- 新人へ看取りに関するケアを教える時のポイント
- たくさんの事例があったのもっと色々な事例を聞いてみたかった。